

榛原図書館改修リノベーション設計に係る市民ワークショップについて

1 企画名 「一緒に話そう！行きたくなる図書館

～設計士と新しい図書館について話し合おう～

2 目的

榛原図書館のリノベーション実施設計の参考とするため、実際に来館してもらいたい榛原地区に住む幅広い属性の市民と意見交換を行う。

3 内容

図書館長、図書館司書、設計士の3名より、榛原図書館の整備案を説明。それに対し参加者から意見や質問等、対話型の意見交換を全4回行った。

4 対象

(1)川崎小学校 5.6年生の図書委員及び運営委員 8人、中学生見学 3人

(2)榛原中学校 図書委員 18人、教諭 1人

(3)榛原高校 グローカル部及び有志の生徒 22人、教諭2人

(4)子育て世代の母親 8人

参加者合計 56人(教諭、見学者除く)

5 主な意見

(1)こんな場所にして欲しい(ハード面)

- ・飲食できる場所や、軽食が購入できる場所がほしい。
- ・アクティビティ(ボルダリング、トレーニング器具、アスレチック、遊具、球技など)
- ・フリーWi-Fiや電源を利用したい。
- ・閲覧席を増やしてほしい。
- ・たくさんの蔵書に囲まれていたい。本が手に取りやすい書棚。
- ・会話したり勉強できる場所。
- ・文化センター南側にウッドデッキがあるとよい。

(2)こんなことがしたい(ソフト面)

- ・市民のおすすめ本コーナーや地域のことを知る展示やパンフレット。
- ・勉強する部屋は静かに使いたい、開架は音があってもよい。
- ・席の空き状況が来館前にウェブ等でわかるとよい。
- ・平日に行けるよう、朝を遅らせてでも夜開館してほしい。
- ・図書館イベントの開催(おはなし会、ビブリオバトル、職業体験、ハロウィン等シーズンイベント、謎解きゲーム、カラオケ大会)
- ・市民イベントの開催(コンサート、お祭り、ワークショップ、キッチンカー等グルメ、フリーマーケット)

5 ワークショップの様子

